

グラレコの手法を用いて 船橋市の市民協働の 指針を知ろう!

市民協働ワークショップ

船橋市
市民協働
の指針

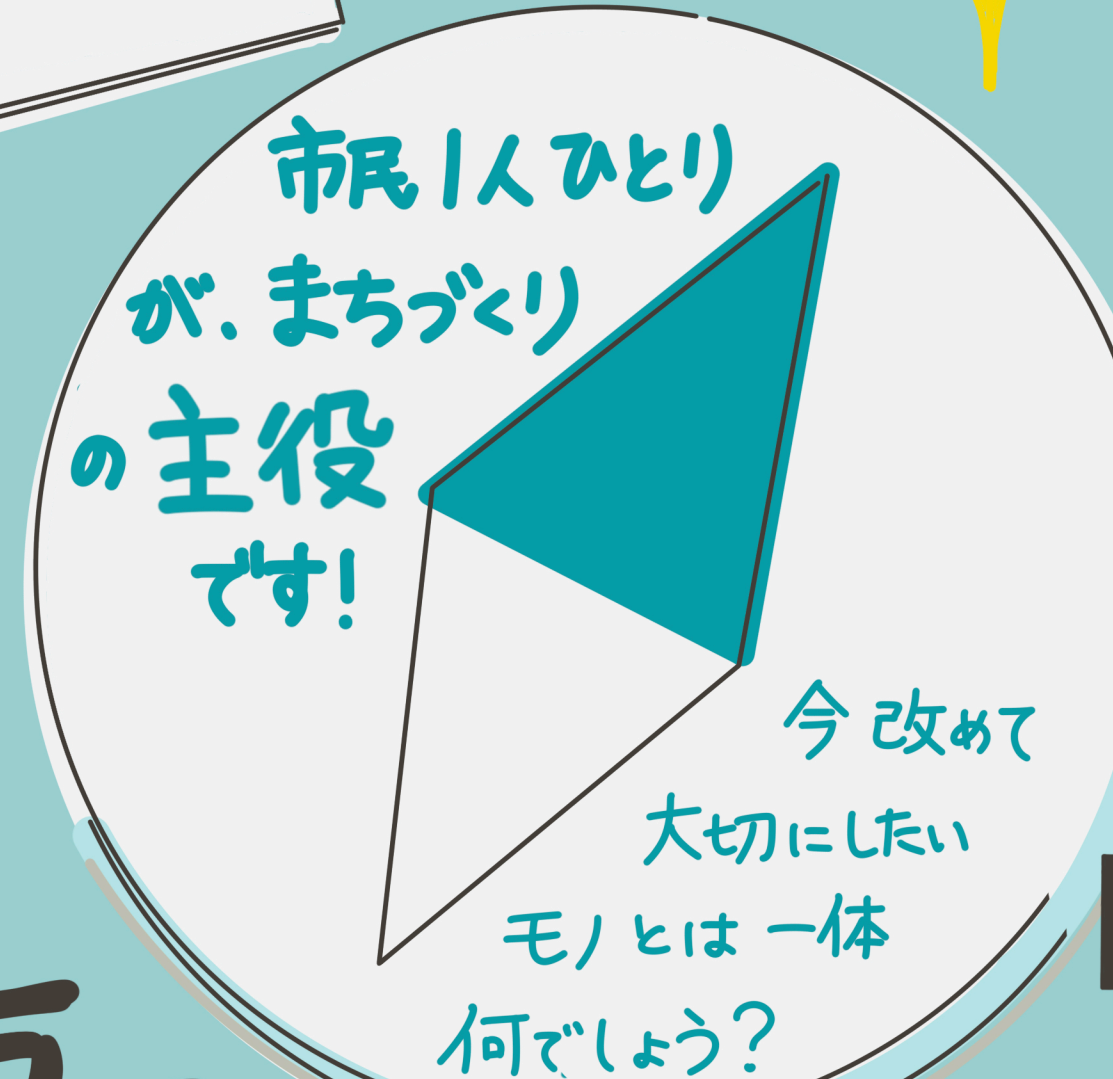


「市民協働の指針」を
みんなで 図解
してみました。

船橋市の 市民協働の 指針



私たちのまちの指針は
どんな一枚になるだろう



はじめに

市民協働って、なぜ必要?

船橋市の市民協働のこれまで

- H7 ボランティア元年
- H15 市民活動サポートセンター
- H30 再定義 指針改定!!

時代の変化に合わせて

市民力

65万人のチカラを!!

まちづくり 市民参加 市政への参加 協働

人もまちも輝く 笑顔あふれる船橋

第1章

なぜ今「市民参加と協働」がまちづくりに必要なの

2033年(予想) 超高齢化社会 ~人口減少~

人口は減 高齢化率はUP

社会的背景の変化

- 脱炭素 子育て支援
- 災害対応 広域かつ重層的な連携が必要なケースも
- 持続可能な社会に向けた意識の高まり

複雑・多様化する社会課題

第3章

「市民参加と協働」ってどうやって進めるの

- 1 市民が主役
- 2 つなぐ 協働の創り出し
- 3 共有 情報共有 支援
- 4 体制強化 意識醸成 組織間の連携

1人1人が まちを創る

つながる つなげる

人口減少社会において、船橋市の土台に。

第2章

市民参加と協働

市民参加

協働とは みんなにとってすみよいまちを!

個人 団体 行政 事業者

共通の目的 対等な立場で

ハナシアイから 全てがはじまるよ

Let's enjoy talking

コトバにしよう。コトバを聞こう。

対話による信頼関係

協働って何?

① 共同 力を合わせる!!

② 協同 助け合う!!

③ 協働 目的達成!!

市政への参加

① 市民の声を聞く

② 適切な市政への反映

③ 市民との信頼関係

より良い協働の実現

各主体の将来像

市民 各団体 行政 事業者

輝きのあふまち

市民協働ワークショップ

「グラレコの手法を用いて船橋市の市民協働の指針を知ろう!」

令和8年 6月7日(日) 13:30~16:00

© 市民活動サポートセンター 講師: 野際 りえ